

# 骨格筋(短期)

## ラット大腿骨格筋

### 概要

ラットから大腿骨格筋を摘出し、臓器培養システムにて灌流培養した。7日間の灌流培養後も高い灌流率を維持した。

### 背景と目的

動物個体では解析することのできない、骨格筋単体での解析を可能にするため、活性を保ち、解析可能な状態での灌流培養を目指した。

灌流率 = 送液量(g) / 静脈からの戻り量(g)

### 参考文献

Sano, K. et al. J Artif Organs (2019)

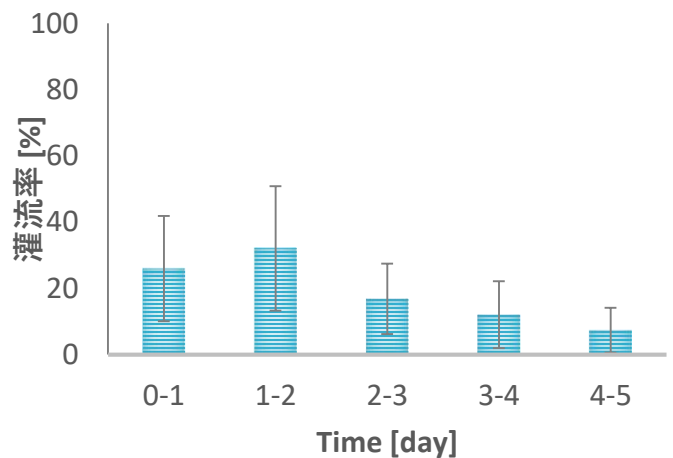


Fig.1 骨格筋灌流の灌流率  
灌流開始5日後まで、20%前後の灌流率を維持したまま灌流継続することができた。(n=4, bar means S.E.).

### 結果

5日間の灌流培養に成功し、20%前後の灌流率を維持しながら灌流することができた (Fig.1)。

これにより、静脈からの戻り液を解析可能な状態での灌流培養を実現した。